

令和 6 年度事業概要



みんなでももる土岐川・庄内川

国土交通省
庄内川河川事務所

目次

庄内川の概要	P1
「流域治水」への転換、普及に向けた取り組み	P2～P5
令和6年度事業費	P6
令和6年度事業実施方針・実施箇所	P6
特定構造物改築事業・河川改修・河川環境・災害復旧	P7～P12
河川維持	P13
洪水調節施設・ダムの有効活用	P14～P15
防災・地域連携	P16
土岐川・庄内川の水害リスクについて	P17～P18

はじめに

庄内川(愛知県区間)では平成12年9月洪水(東海豪雨)、土岐川(岐阜県区間)では平成元年9月洪水と同規模の洪水が発生しても、破堤等による甚大な被害を防止するとともに内水被害の軽減を図ることを目標に、治水対策を進めております。

一方で、近年は平成30年7月豪雨や、令和元年東日本台風(台風第19号)など、全国各地で豪雨等による大規模な水害が毎年のように発生し、人命や社会経済への甚大な被害が生じています。

このため、河川管理者等による治水対策に加え、あらゆる関係者(国・県・市町・企業・住民等)により流域全体で行う治水「流域治水」へ転換するため、流域全体で早急に実施すべき対策の全体像を「流域治水プロジェクト」として示し、『防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策』の予算等を活用しながら、ハード・ソフト一体の事前防災対策を加速しております。

さらに、令和6年3月に土岐川・庄内川の流域関係者で構成する土岐川・庄内川流域治水協議会において、こうした気候変動の影響による水害リスクの増大を踏まえ、流域全体でのさらなる対策の方向性を確認し、「庄内川水系流域治水プロジェクト2.0」として更新を行いました。

引き続き、庄内川河川事務所は「流域治水プロジェクト」の推進を通じて、持続可能で強靱なまちづくり、防災教育の推進、生物多様性の保全等の「SDGs(持続可能な開発目標)」の達成に貢献し、「誰一人取り残されない」社会の構築を目指していきます。

庄内川の概要



流域治水の普及に向けた取組状況

- 「流域治水」を広く周知・PRするとともに、流域へ関心を持つ機会創出を図る取組として、令和5年度も「土岐川・庄内川の流域治水の自由研究」を募集しました。
- 募集の結果、土岐川・庄内川流域の小中学生6名の方から応募がありました。

自由研究の応募作品一覧



流域治水の普及に向けた取組状況

- 土岐川・庄内川流域治水の自由研究の表彰式が、令和5年12月26日（火）に小里川ダム管理支所、27日（水）に庄内川河川事務所でそれぞれ開催されました。
- 表彰式終了後には、受賞者の皆さんが「一日庄内川河川事務所長」に就任し、小里川ダム管理支所では堤体内視視やダム管理室見学などを、庄内川河川事務所では照明車操作やドローン操縦などを体験しました。

表彰式



12月26日：小里川ダム管理支所
(左から 欄さん、深澤さん、田嶋さん)

12月27日：庄内川河川事務所
(左から 多田さん、青木さん、松尾さん)

《土岐川・庄内川流域治水自由研究受賞者一覧》

☆最優秀賞

笠原川の生き物スペシャリストで賞「笠原川MAP2 ～ガサガサ探検2023～」
・多治見市立脇の島小学校 5年 青木 すみれ さん

☆優秀賞

庄内川河川事務所長賞「川原の石ころ調べ～かさ原川となかよくなるう～」
・多治見市立昭和小学校 3年 田嶋 岳洋 さん
流域治水奨励防災賞「大雨、洪水から身を守るために自分にできること」
・名古屋市立味鏡小学校 6年 深澤 仁実 さん
流域治水奨励庄内川名人賞「庄内川について2023」
・名古屋市立金城小学校 5年 松尾 泰志 さん
流域治水奨励オオサンショウウオ観察賞「私の住んでいる町のオオサンショウウオ」
・瀬戸市立掛川小学校 6年 欄 理乃 さん
流域治水奨励庄内川造詣賞「庄内川大解剖」
・学校法人東海学園東海中学校 3年 多田 己一郎 さん

一日事務所長体験（小里川ダム管理支所）



一日事務所長体験（庄内川河川事務所）



流域治水の普及に向けた取組状況

- 土岐川・庄内川流域治水の自由研究の一助となるよう、名古屋市と庄内川河川事務所の共同で令和5年7月24日と8月7日に小中学生を対象とした現場見学会を開催しました。
- 普段入ることができない工事現場で、県道枇杷島仮橋見学や水陸両用ブルドーザーの遠隔操縦、レーザースキャナーやARを通して、治水事業への理解を深めて頂きました。

《現場見学会概要》

- 日 時：令和5年7月24日、8月7日
- 場 所：庄内川河川事務所、県道枇杷島仮橋
令和4年度庄内川日比津河道掘削工事現場内
(名古屋市中村区稲葉地町地先)
- 内 容
 - ①水陸両用ブルドーザーの操作体験
 - ②三次元技術を活用した工事設計
- 参加者：4家族10人(子供6人、大人4人)



県道枇杷島仮橋の工事を説明



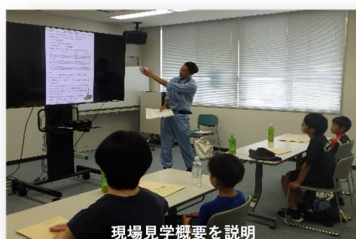
水陸両用ブルドーザー操作体験



iPadを活用した3次元計測



3次元設計体験



現場見学会概要を説明



県道枇杷島仮橋の工事を説明

《参加した小学生からの声》

- ・作っている途中の橋を見れたのが良かった。(小4)
- ・水ブルを大きなリモコンで操作できて楽しかった。(小2)
- ・3Dスキャナの体験が面白かった。(小5)

流域治水の普及に向けた取組状況

- 土岐川・庄内川流域治水の興味・関心を持つ機会の創出として、各構成員において広報・イベントを関係者と協働して実施・開催しております。



ショッピングモールでの流域治水パネル展
(名古屋市)



雨水貯留施設の見学会(名古屋市)



自主防災組織での防災教育を支援



流域治水の出前講座(庄内川河川事務所)



小学校児童による
五条川水生生物調査(岩倉市)

流域治水の普及コンテンツの充実

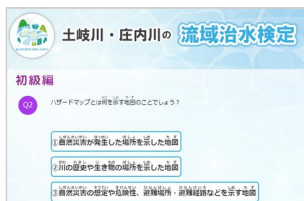
- 流域全体で行う「流域治水」の実効性を向上させるため、協議会関係者のみならず住民・企業等の「流域治水」に対する認知度向上や意識醸成が不可欠です。
- 令和6年度は以下の「流域治水の普及コンテンツ」を新たに作成・実装し、庄内川流域で行う流域治水の取組への参画の輪を拡げるとともに、流域の防災・減災を担う将来世代の人材育成にも取り組みます。

庄内川流域治水ポータルサイト

- ・流域治水をより広く・深く知っていただくための取組情報発信サイト



- ・サイト内の「流域治水検定」では、学習ツールで学んだ内容や玄人向けの問題に挑戦でき、全問正解者には合格証書を表示



流域治水カード

- ・29機関38種類の取組を紹介
- ・各機関窓口や関連施設・イベント等で令和6年3月1日より順次配布
- ・土岐川・庄内川流域治水ポータルサイトでは、配布場所についても発信



カードイメージ

水防災・流域治水学習ツール

- ・庄内川流域の上・中・下流域の特徴に応じた、流域治水の学習教材
- ・小学校4年生～6年生が主な対象
- ・総合学習などの防災授業、自主学習・自主研究用資料、理科や社会の授業での写真等の提示用資料など、様々な活用方法が可能



副読本イメージ

8



令和6年度 庄内川河川事務所 事業費

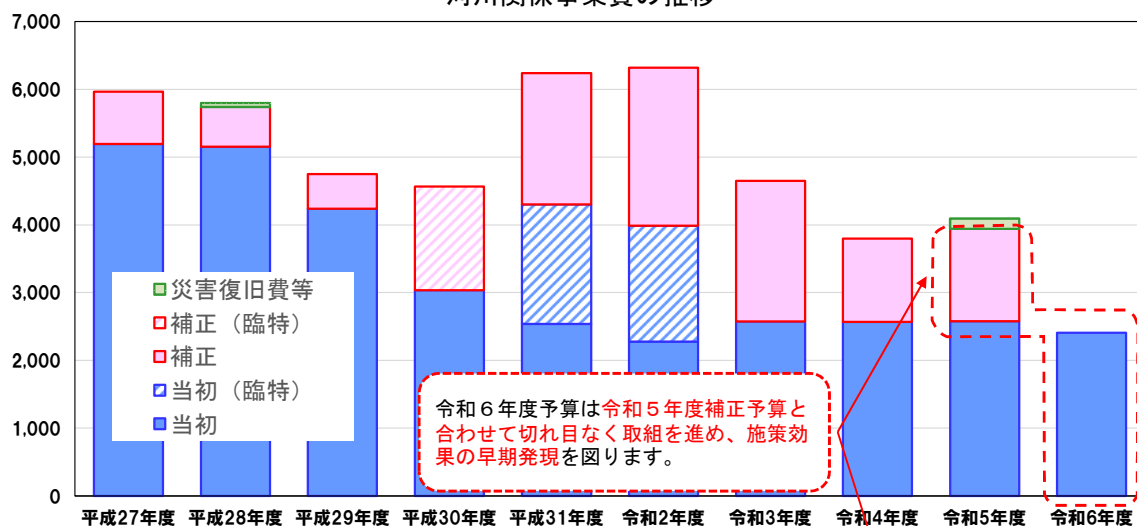
単位: 百万円

	令和5年度			令和6年度			前年度からの伸率
	令和5年度 当初予算	令和4年度 補正予算	計	令和6年度 当初予算	令和5年度 補正予算	計	当初予算
	①	②	③: ①+②	④	⑤	⑥: ④+⑤	④/①
河川の改修	1,660	980	2,640	1,554 (2,060)	1,084	2,638 (3,144)	0.94 (1.24)
河川改修費	1,440	980	2,420	1,234	944	2,178	
河川都市基盤整備事業費	220	0	220	320	140	460	
(受託工事費)				(506)		(506)	
河川環境の整備	61	0	61	70	70	140	1.15
総合水系環境整備事業費	61	0	61	70	70	140	
河川の維持管理	856	250	1,106	784	209	993	0.92
河川維持修繕費	856	250	1,106	784	209	993	
河川工作物関連応急対策事業費	0	0	0	0	0	0	
総合流域防災対策事業費	0	0	0	0	0	0	
小里川ダムの維持管理	349	83	432	350	38	368	1.00
堰堤維持費	349	83	432	350	18	368	
総合流域防災対策事業費	0	0	0	0	20	0	
災害復旧	90	0	0	0	63	0	-
災害復旧事業費	90	0	0	0	63	0	
合計	3,016	1,313	4,239	2,757 (3,263)	1,464	4,139 (4,645)	0.91 (1.08)

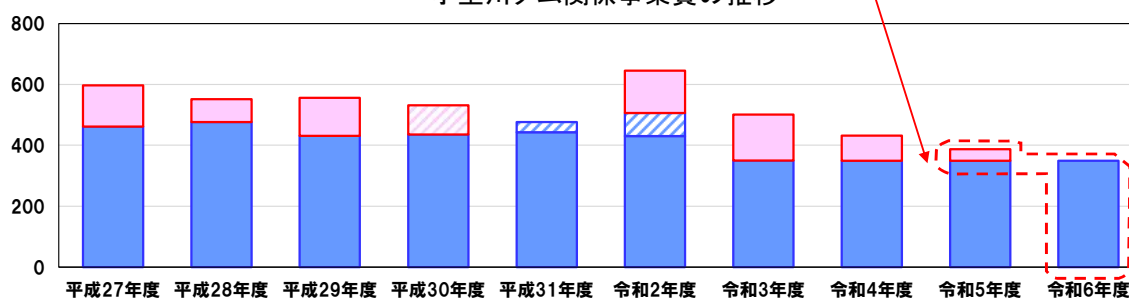
事業費は、工事諸費(営繕費、業務取扱費等)を除いた金額を記載。
()は受託工事費を含んだ金額。

(参考) 事業費の推移

河川関係事業費の推移



小里川ダム関係事業費の推移



令和6年度 事業実施方針

- 流域治水対策を推進するため、庄内川の河川管理者として引き続き、氾濫をできるだけ防ぐ・減らす対策として、**流下能力の低い箇所を重点的に河道掘削・堤防整備**を実施します。
- 加えて、**河川及び河川管理施設の適切な機能保全のための維持管理**や**土岐川のかわまちづくり事業**を実施します。

<河川改修>

- ・下流部では、狭窄部対策、河道掘削、堤防整備等を実施。
- ・中流部では、堤防断面が不足している箇所の堤防整備等を実施。
- ・上流部では、河道掘削、かわまちづくり事業区間の堤防整備等を実施。

<維持管理>

- ・河川が適切な機能を発揮できるよう堤防の法面や護岸等の補修を実施。
- ・洪水や河川管理上支障となる河川内の樹木・土砂が再繁茂・再堆積しないよう取り組みを実施。

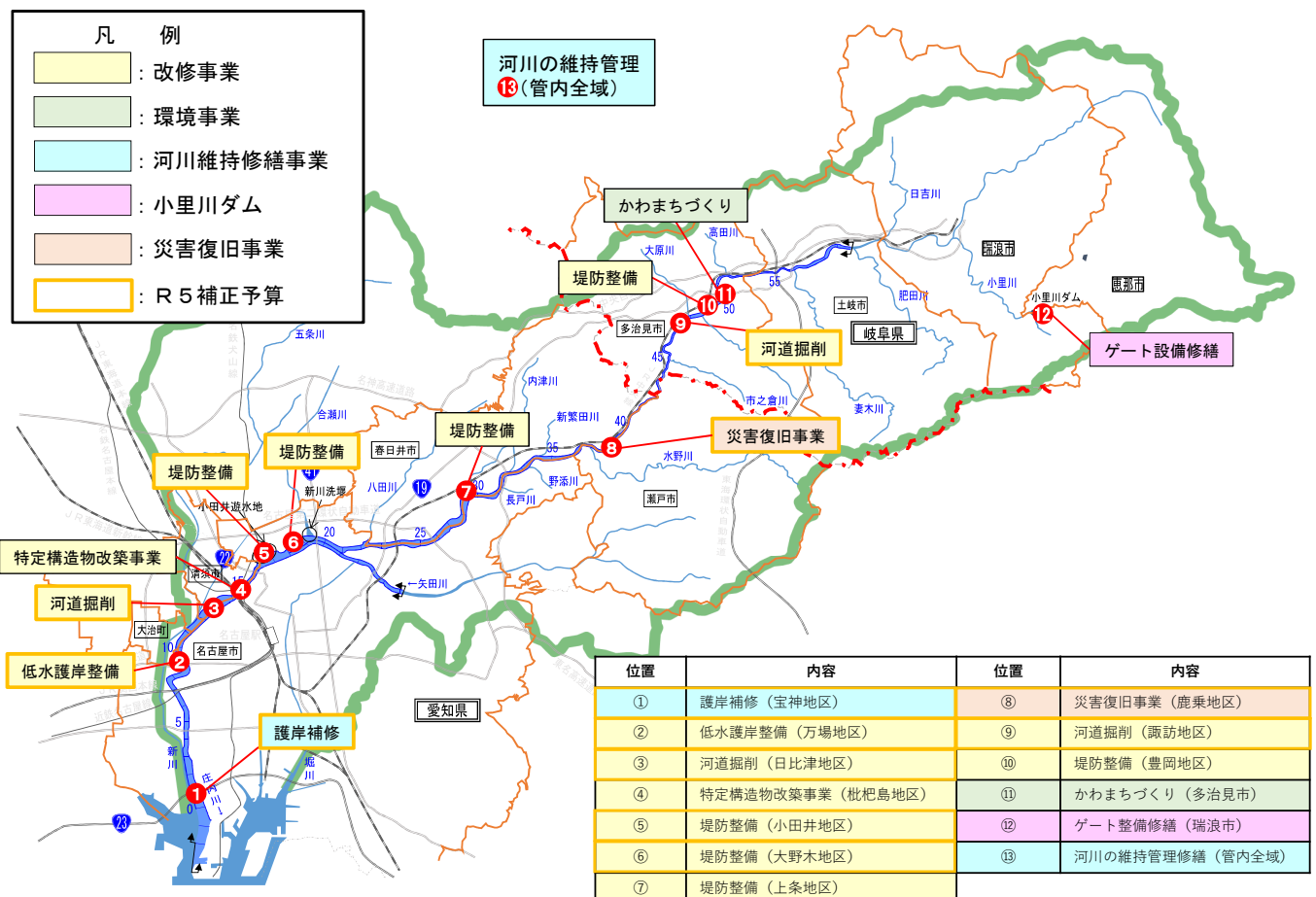
<河川環境>

- ・歴史的、自然的、文化的な河川環境を活かした整備を行い、水辺の利用を推進するために、多治見市かわまちづくり事業として多目的空間や散策路の整備を実施。

<小里川ダム>

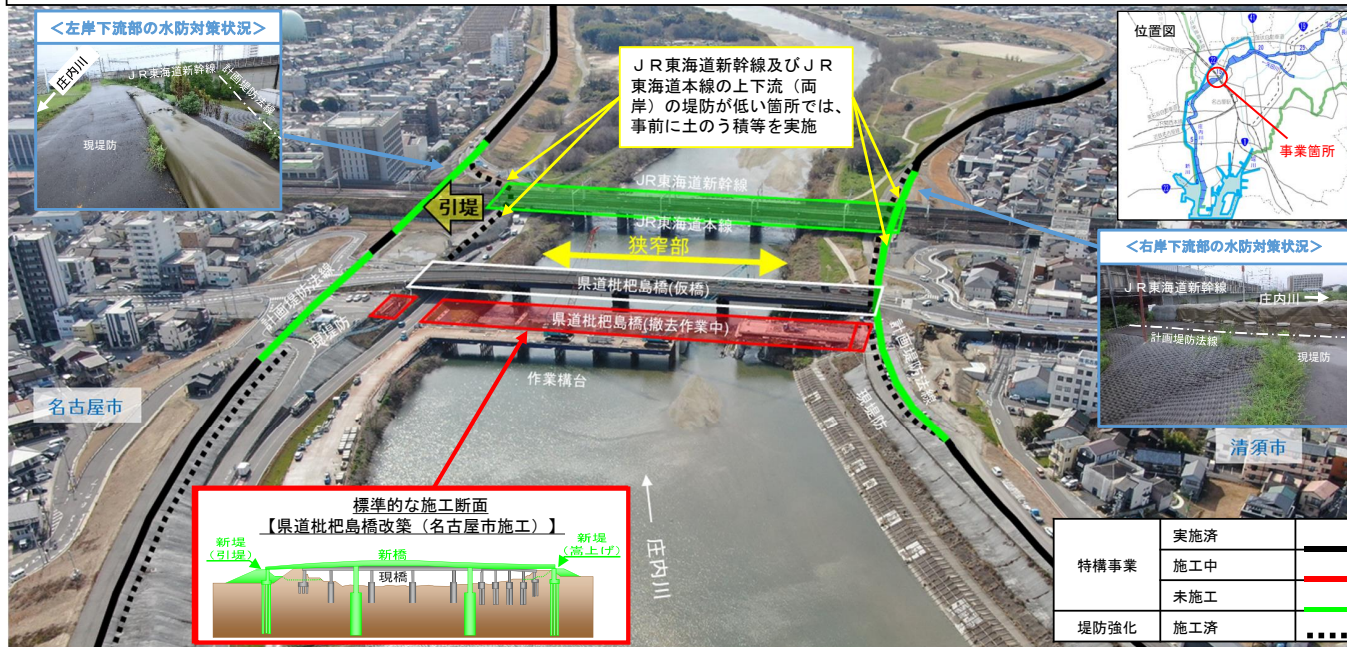
- ・洪水時における防災操作を確実に実施。
- ・ダム常用洪水吐2号ゲート設備の修繕工事を実施。
- ・貯水池法面对策工事を実施。

令和6年度 事業実施箇所 位置図（改修・環境・維持事業）



枇杷島地区狭窄部対策（特定構造物改築事業 等）

- 枇杷島地区は、**庄内川の狭窄部**であるとともに、県道枇杷島橋を始め、桁下高が低く、橋脚の間隔がせまい橋梁が横架しており、洪水の流下に大きな支障をきたしています。河川の水位を低下させるため河道掘削を進めるとともに**堤防整備（引堤）**及びそれに伴う**3橋梁の架替え**（庄内川特定構造物改築事業）を実施しています。
- 令和2年度に橋梁部を除く**左岸側の堤防整備が概成**し、令和3年10月に現場着手した「**県道枇杷島橋架替（名古屋市施工）**」は、令和5年11月に迂回路仮橋への**交通切替が完了**したため旧橋撤去に着手しています。令和6年度は引き続き**旧橋橋台・橋脚の撤去工事**を推進していきます。
- 一方で、事業完了にはまだまだ時間を要するため、緊急時に備えて堤防の低い箇所への**土のう積**や、JR東海道本線から名鉄名古屋本線の区間において、越水した場合であっても決壊しにくくするよう**堤防強化**を実施しました。

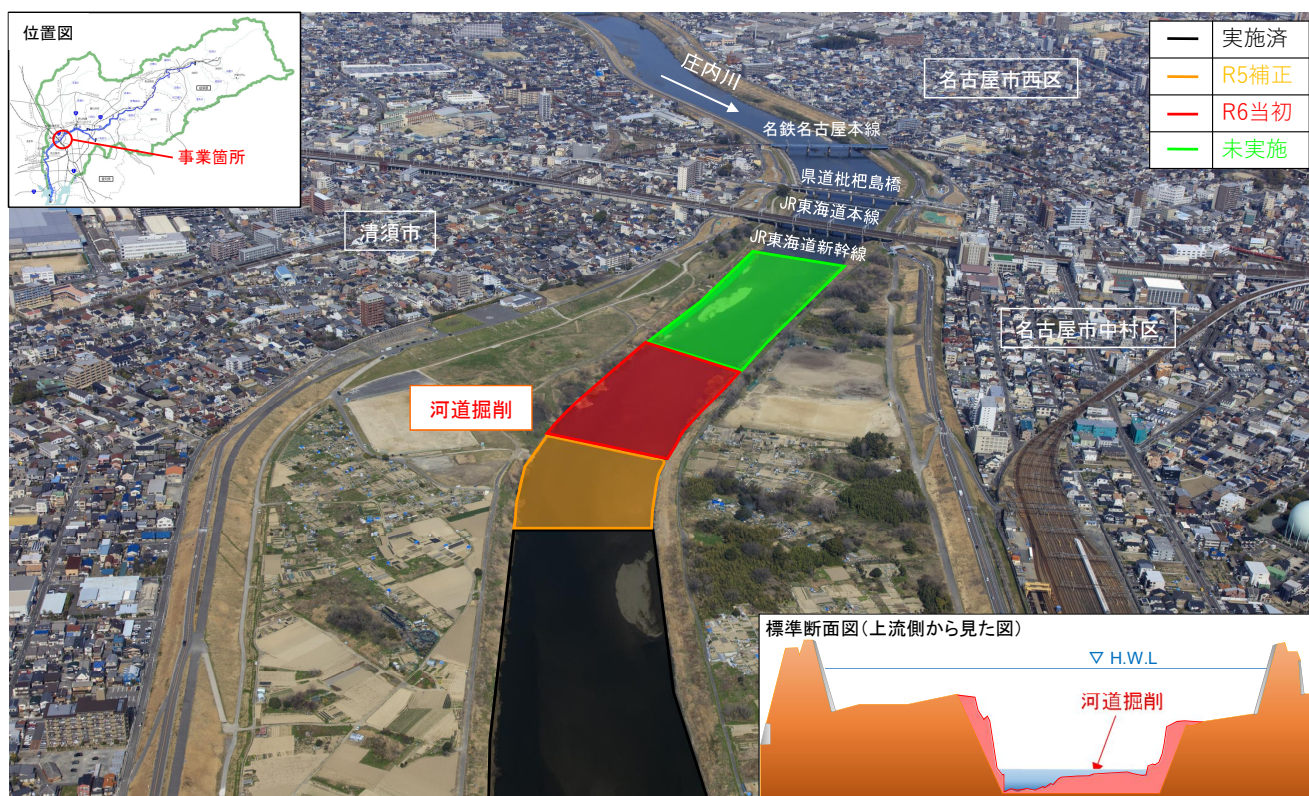


枇杷島地区狭窄部対策（河道掘削：日比津地区）

当初

R5補正

- 枇杷島地区の狭窄部対策の一環として、洪水時の水位を低下させるため、日比津地区で河道掘削を実施します。
- これにより、庄内川の流下能力が向上し、地域の安全性を高めます。



低水護岸整備（万場地区）

R5補正

- 万場地区は、高水敷の幅が狭く、洪水で堤防が侵食される危険性があるため、浸食を防止するための対策として、低水護岸を整備します。
- これにより、浸食による堤防の損傷を防ぎ、地域の安全性を高めます。



堤防整備（小田井地区）

R5補正

- 小田井地区は、洪水時に水を貯留する小田井遊水地において、高さや断面が不足している箇所の堤防整備を実施します。
- これにより、洪水時における堤防の強度を向上させ、地域の安全性を高めます



堤防整備（大野木地区）

当初

R5補正

- 大野木地区は、高さや断面が不足している箇所の堤防整備を実施します。
- これにより、洪水時における堤防の強度を向上させ、地域の安全性を高めます。



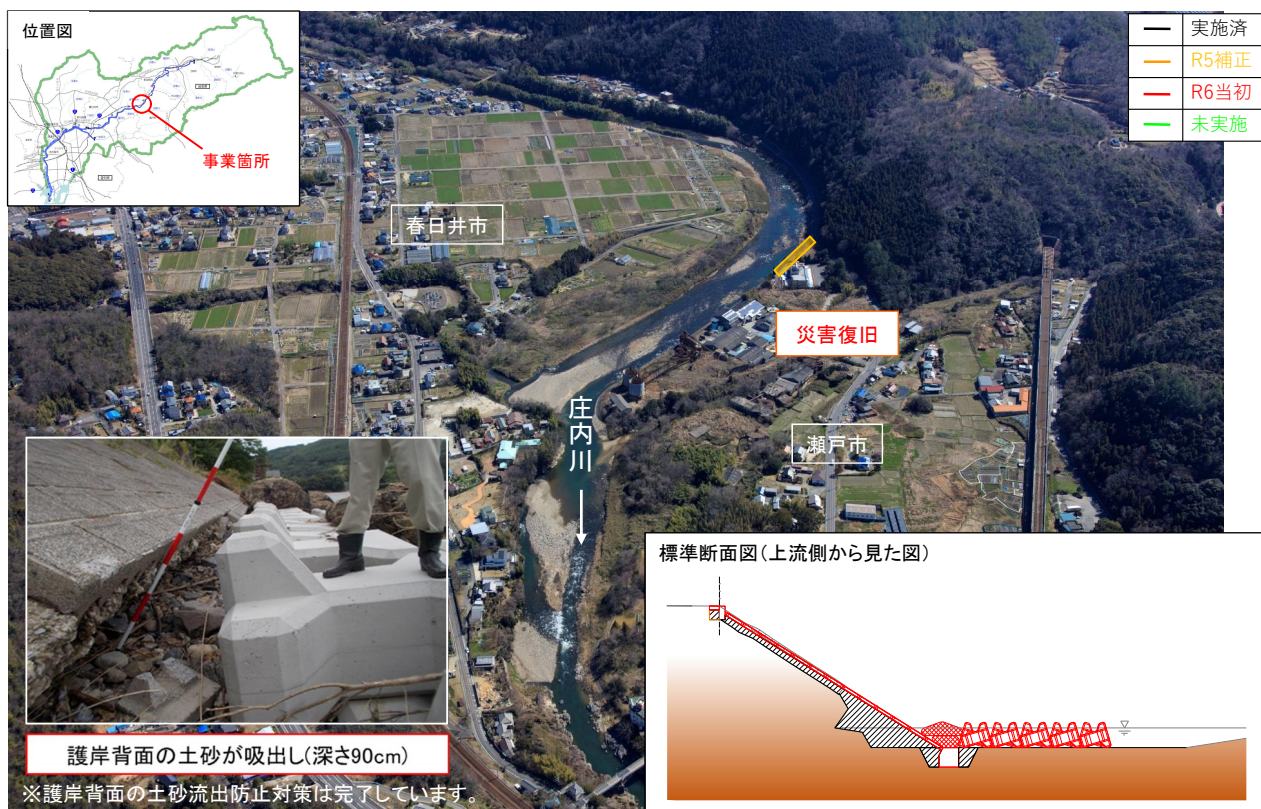
堤防整備（上条地区）

当初

- 上条地区は、高さや断面が不足している箇所の堤防整備を実施します。
- これにより、洪水時における堤防の強度を向上させ、地域の安全性を高めます。



- 令和5年6月の台風2号及びそれに伴う前線の活発化による大雨により被災した鹿乗地区において、護岸工や根固めブロックで被災施設を復旧します。



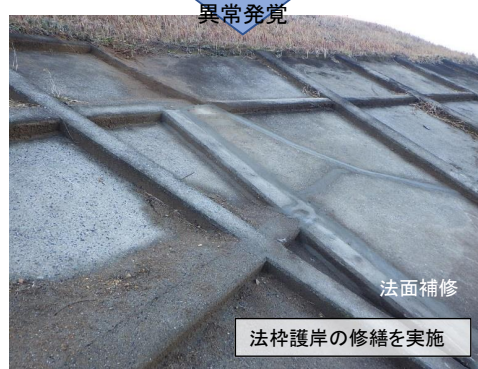
河川の現状把握・維持修繕（河川維持）

- 河川の状況監視や損傷確認、基礎データの収集などのため河川巡視、点検、観測等を実施します。
- 河川管理施設等の機能を確保するため、堤防・護岸・水門等施設の現状を把握し、河川管理上の支障の有無を確認し、適切な処置を講じます。

～河川の流況把握～



～河川施設の現状把握・維持修繕～



堤防の維持・樹木伐採（河川維持）

- 堤防点検あるいは河川の状態把握のため、堤防の除草を実施します。
- 河道内の樹木繁茂等により、河道断面が減少するため洪水の安全な流下等に支障となる箇所においては、樹木伐採や維持掘削を実施します。また、樹木伐採については環境に配慮しつつ実施し、踏み倒しや伐採木無料配布によるコスト縮減に努めます。

～堤防の維持～



除草を実施



除草後



～樹木伐採・維持掘削～



樹木伐採・踏み倒しを実施



伐採・掘削後



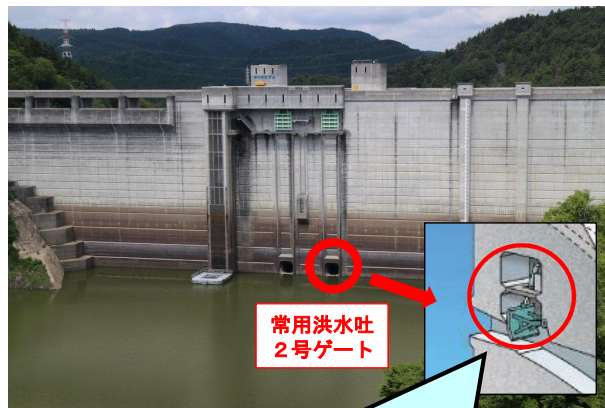
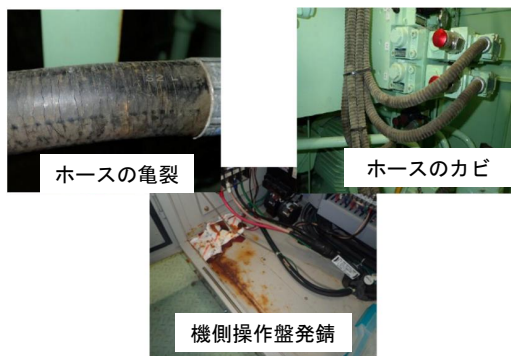
伐採木無料配布の様子

ダム管理

- 令和6年度は、通常のダム管理、並びに、常用洪水吐2号ゲートの修繕工事を実施します。
- 常用洪水吐2号ゲートは、2000年の設置から24年が経過していて、配管等に損耗・劣化が発生し、ダムの洪水調節に必要不可欠な設備であるため、機能を維持する必要があります。



配管等の損傷状況



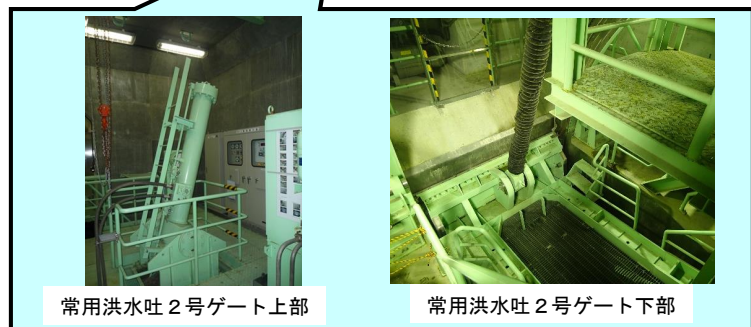
常用洪水吐
2号ゲート

更新機器



機側操作盤

油圧ユニット



常用洪水吐2号ゲート上部

常用洪水吐2号ゲート下部

地域の水害を抑えて20年 -小里川ダム運用開始20年-

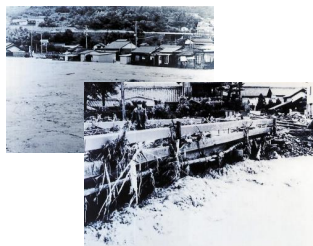
- 小里川ダムは令和6年4月1日をもって運用開始20年を迎えます。
- 平成16年3月の完成以降、洪水の発生水準に達する出水※が25回発生しましたが、小里川ダムの洪水調節により下流への被害を抑え続けています。 ※ ダムへ流れ込む水量が80m³/s以上の出水
- 令和6年度には地域と連携した記念イベントの開催を予定しています。



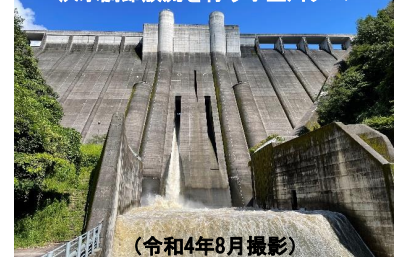
試験湛水の状況写真（平成15年4月撮影）

ダムは一旦満水状態まで貯水した後に放流操作を実施し、一連の安全性が確認されて初めて完成となります

昭和47年（1972年）土岐川の洪水



洪水調節放流を行う小里川ダム



（令和4年8月撮影）

【運用開始20年記念イベント（予定）】

ダム水源地・下流域を一体とした地域活性化の達成を目標に、それぞれの地域イベントへ小里川ダムが参加予定。また、その他各種イベントを継続して開催。



令和6年度も 各種イベントを開催予定

洪水調節施設

小里川ダム（多目的ダム）

平成16年完成

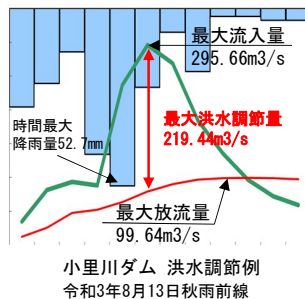
小里川、土岐川、庄内川を洪水から守ります。
貯留水を利用して発電や川の環境を守ります。

ダム地点の計画高水流量1,000m³/sの内、**880m³/sを調節（貯留）し、120m³/sの放流**を行い、川の増水を緩和し洪水から守ることができます。

小里川ダムの洪水調節のイメージ図



位置	恵那市、 瑞浪市
堤高	114m
集水面積	55km ²
湛水面積	0.55km ²
総貯水容量	15,100千m ³
有効貯水容量	12,900千m ³



小田井遊水地

小田井遊水地は、平時は名古屋市の都市公園として利用していますが、洪水時には庄内川の水を流入させて、庄内川を洪水から守る洪水調節施設です。



位置	名古屋市西区 山田町
面積	約42ha
容積	約140万m ³
水門	1箇所
越流堤	190m

東海豪雨相当の洪水に対して**最大で毎秒100m³を遊水地に流入**させて、庄内川の水位を下げます。

庄内川におけるダムの有効活用（事前放流・浸水想定）

事前放流

○ 治水協定を締結

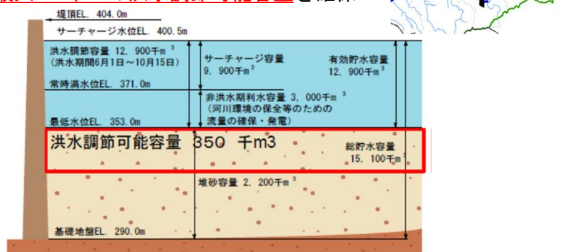
- 既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた協議の場として、庄内川水系ダム管理連絡調整協議会を設置（令和2年5月25日）
庄内川水系（庄内川・土岐川）治水協定締結（令和2年5月25日）
（国土交通省中部地方整備局、岐阜県県土整備部、土岐川防災ダム一部事務組合、中部電力（株））
治水協定では、事前放流の実施方針や情報共有のあり方について今後取り組むべき事項を定めています。
- ハード・ソフト対策を一体的かつ計画的に推進するための協議・情報共有を行うことを目的として、令和3年4月に小里川ダム放流連絡会を開催し、事前放流に係る情報共有方法を関係機関へ正式に通知。

○ 洪水調節機能強化

- 事前放流は、治水協定に位置づけられた洪水調節可能容量を活用し、この容量の範囲において実施します。
- 具体的には、58.9万m³を新たに確保しました。
（小里川ダム：35万m³、神徳農地防災ダム：23.9万m³）

（例）小里川ダムの洪水調節機能強化

予想される豪雨に応じて、事前放流を行い
最大350千m³の洪水調節可能容量を確保



小里川（ダム下流）の浸水想定図

○ 小里川（ダム下流）浸水想定図 作成の目的

気候変動の影響等による異常豪雨の頻発化が懸念される中、ダムの洪水調節機能を上回る洪水時に、住民が円滑かつ迅速な避難行動に繋がれるように、「庄内川水系 小里川（ダム下流）浸水想定図」を作成（令和2年5月公表）。

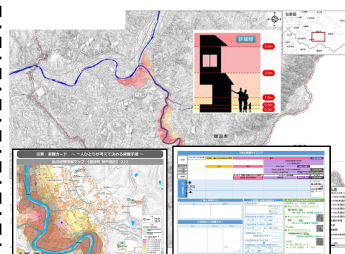
○ 小里川（ダム下流）浸水想定図は、5種類

- 浸水想定図（想定最大規模）
- 浸水想定図（計画規模）
- 浸水想定図〔浸水継続時間〕（想定最大規模）
- 浸水想定図〔家屋倒壊等氾濫想定範囲（氾濫流）〕
- 浸水想定図〔家屋倒壊等氾濫想定範囲（河岸侵食）〕

○ 小里川（ダム下流）浸水想定図を活用した訓練

- 小里川ダム下流浸水想定図を活用した災害・避難カード（マイタイムライン）作成訓練を、令和3年度より右表のとおり実施。
- 令和6年度もダム下流域に向けた同様の訓練実施を予定

開催日	対象地区等
R3 10/18	瑞浪市稲津町内（10地区）
R4 7/8	瑞浪市土岐町地内（2地区）
9/14	瑞浪市稲津町内（10地区）
7/14	瑞浪市土岐町地内（2地区）
R5 9/19	学法 安達学園 中京高等学校
9/20	瑞浪市稲津町内（10地区）



災害・避難カード（マイタイムライン）



令和5年度の訓練状況

土岐川・庄内川の水害から命を守るための会議

- 土岐川、庄内川が氾濫した場合の水害による被害の軽減に資する取組を総合的かつ、一体的に推進するために必要な協議を行うものとし、「水防災意識社会」の再構築を目的として、水防法第15条に基づく大規模氾濫減災協議会として「土岐川・庄内川の水害から命を守る会議」を設置しました。
- 今年度は令和5年5月30日に幹事会、5月31日に本会議（書面開催）を実施しました。
- 土岐川・庄内川の「人命被害ゼロ」「社会経済被害の最小化」を目標に「土岐川・庄内川流域の減災に係る取組方針」に基づく減災に関わる取組を推進しております。

土岐川・庄内川の水害から命を守るための会議

目的 土岐川、庄内川が氾濫した場合の水害、または土砂災害や高潮による被害の軽減に資する取組を総合的かつ一体的に推進し、「水防災意識社会」の再構築すること。

構成員 沿川市町（12市3町）、水防組合、岐阜県、愛知県、気象庁、自衛隊、警察局、中部運輸局、名古屋高速道路公社、民間事業者（鉄道事業者、高速道路管理者、電力会社）、庄内川河川事務所

令和5年度 幹事会の様子



「土岐川・庄内川流域の減災に係る取組方針」の主な内容（ソフト対策の取組）

①人命被害ゼロに向けた住民の自主的な避難行動を促す取組

- ・ 中小河川における浸水想定区域の指定、浸水実績等の周知
- ・ 住民一人一人の避難行動の認識の徹底（マイタイムラインの作成等）、避難訓練への地域住民の参加促進
- ・ わかりやすい教材等を用いた、防災教育の実施、地域防災力の向上のための人材育成 ・ 共助の仕組みの強化
- ・ タイムライン作成・実践 ・ 大規模台風による高潮・洪水からの広域避難を実現するための取組
- ・ 庄内川の特性をふまえた、流域治水・水防災を学ぶ教育教材の作成（学校教員による流域治水・水防災教育の促進）

②水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動や応急復旧活動に関する取組

- ・ 消防団（兼任水防団）の人員確保に向けた取組の推進
- ・ 出水時に水防活動、河川巡視、応急復旧活動に支障が出るそのある堤防道路の通行規制の検討、
- ・ 重要水防箇所に対応する最寄りの水防倉庫や資材保管場所、アクセス道路の関係者間での情報共有

③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための事前準備に関する取組

- ・ 氾濫流の排除計画の立案 ・ 多様な主体による被害軽減対策に関する取組



「土岐川・庄内川流域の減災に係る取組方針」はこちら

地域連携

- 令和6年度においても、親しみのもてる庄内川であるよう、引き続き地域社会と一体となった川づくりを推進するため、河川協力団体やアダプト団体の活動支援を行います。
- また、環境教育や防災教育を推進し、災害時の緊急対策等に協力いただく団体（庄内川災害対策協力会）との連携を強化していきます。

環境教育

小学生、園児等を対象に年間約13回実施
参加者約640人を支援



タモ網を使ったガサガサ調査 透視度計を用いた水質調査

河川協力団体

河川管理者のパートナーとして実施する、「河川の維持管理」や「環境保全」に関する活動を支援



志段味ビオトープ（名古屋市の環境保全の除草 毎年春・秋に開催される、藤前干潟クリーン大作戦

地域の建設業団体による取組 【庄内川災害対策協力会】

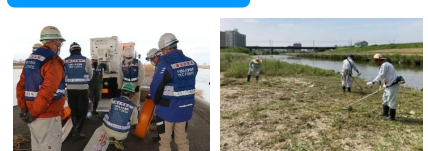
災害対策協力会は、36の建設会社が沿川に暮らす地域住民の安全・安心のため、**庄内川で災害が発生した場合に緊急対策等に協力する団体**

災害時の活動



R6.1 能登半島地震で災害対策車両の管理（石川県）

平常時の活動



災害対策用機械の操作訓練

環境教育の場「矢田川子」の水辺清掃活動

防災教育

近年の大規模水害や東海豪雨の様子、「流域治水」などの公的な対策について**重要な防災教育を支援**



授業風景

近年の大規模水害や「流域治水」について説明

アダプト活動団体

身近な場所で**自主的に実施される市民活動**（河川美化・清掃、環境教育等）をサポート



河川敷でのゴミ拾い

子ども達への環境教育（ヨシ狩り体験）

気候変動に伴う水害の頻発化・激甚化

- 治水計画を、「過去の降雨実績に基づく計画」から「気候変動による降雨量の増加などを考慮した計画」に見直しの検討が必要となっております。

これまで

洪水、内水氾濫、土砂災害、高潮・高波等を防御する計画は、
これまで、過去の降雨、潮位などに基づいて作成してきた。

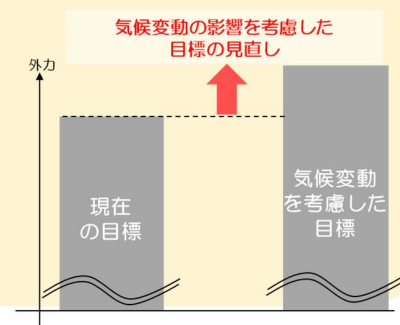
しかし、
気候変動の影響による降雨量の増大、海面水位の上昇などを考慮すると
現在の計画の整備完了時点では、実質的な安全度が確保できないおそれ

今後は

気候変動による降雨量の増加※、潮位の上昇などを考慮したものに計画を見直し

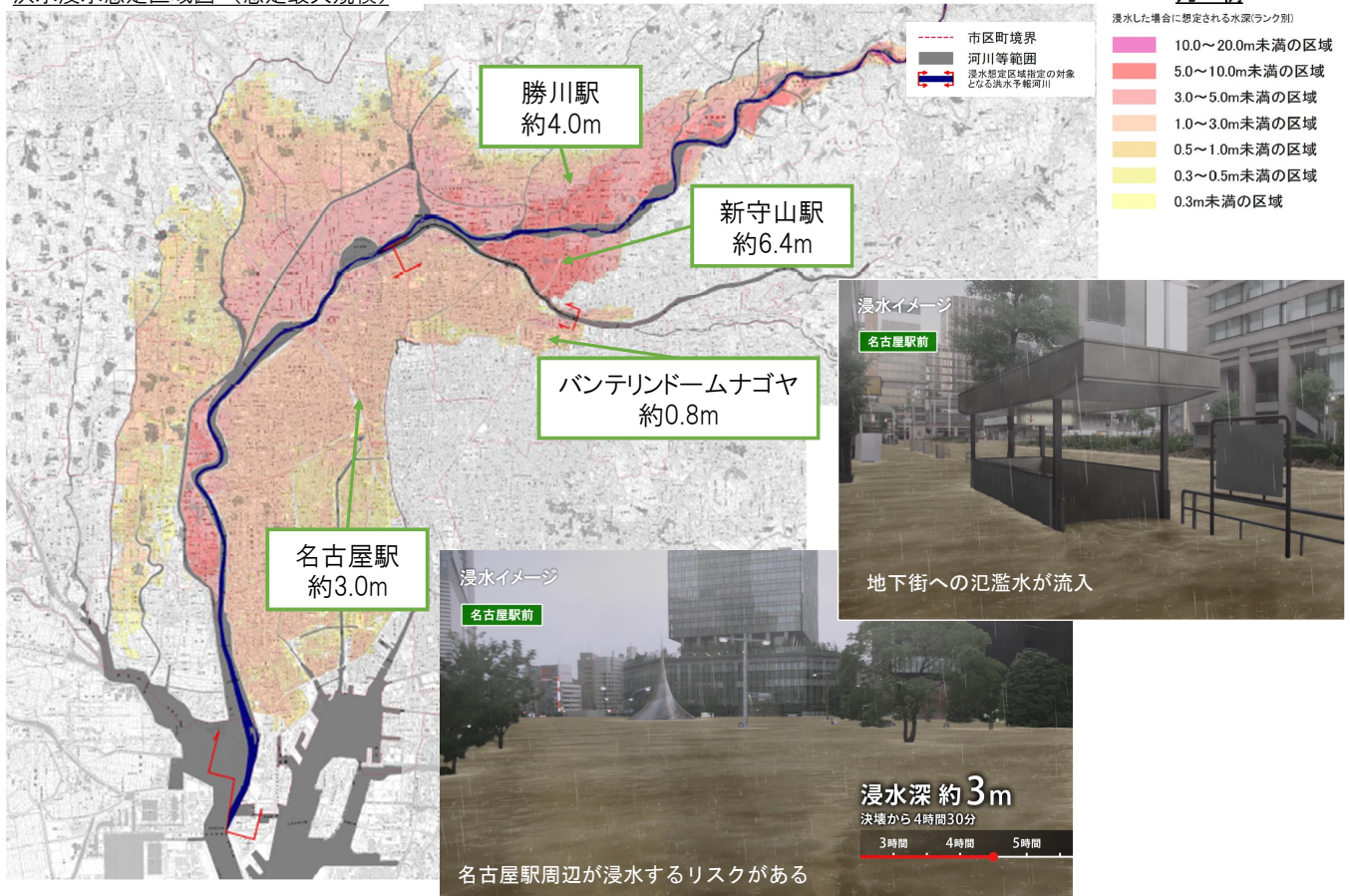
気候変動シナリオ	降雨量	流量	洪水発生頻度
2℃上昇相当	約1.1倍	約1.2倍	約2倍

※ 世界の平均気温の上昇を2度に抑えるシナリオ（パリ協定が目標としているもの）



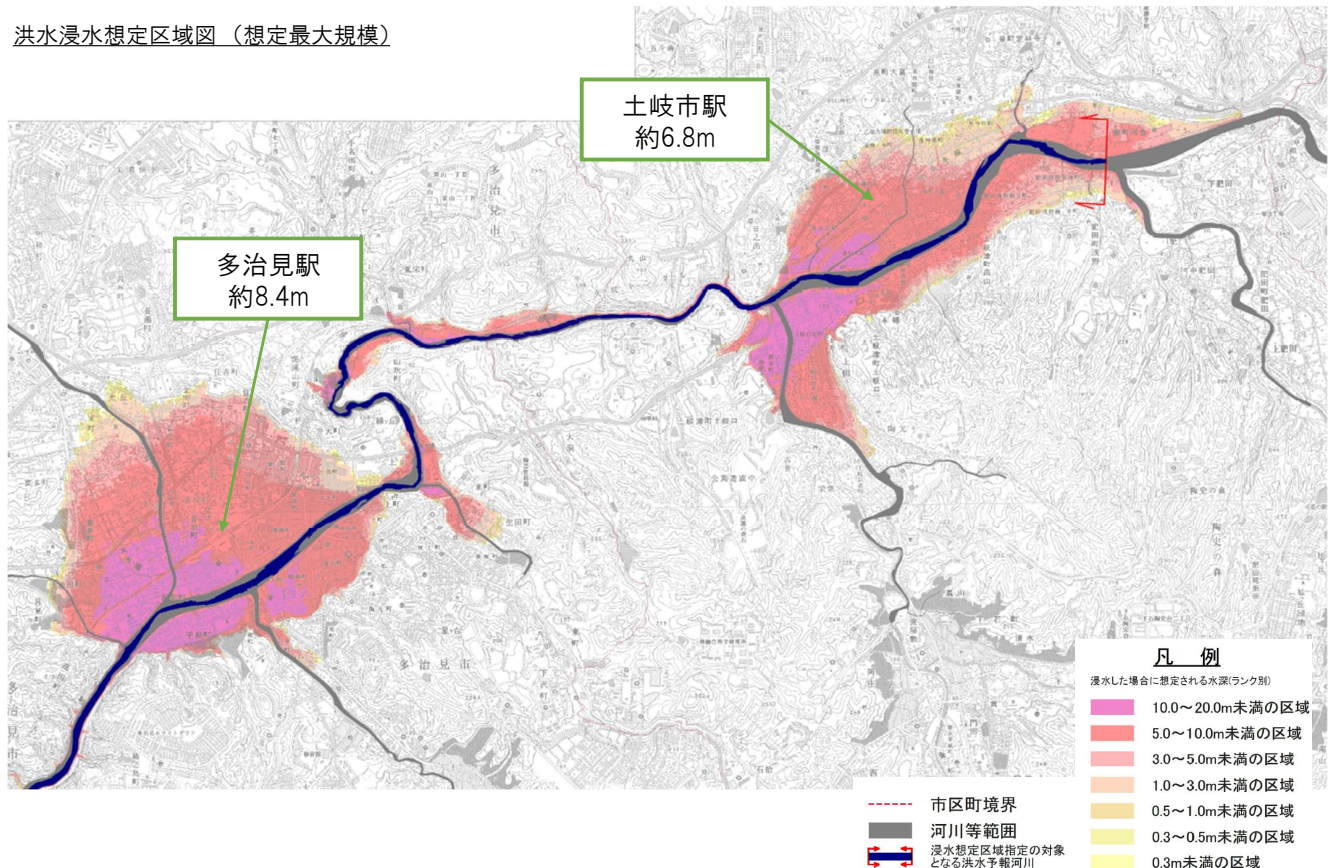
愛知県における水害のリスク

洪水浸水想定区域図（想定最大規模）



岐阜県における水害のリスク

洪水浸水想定区域図（想定最大規模）

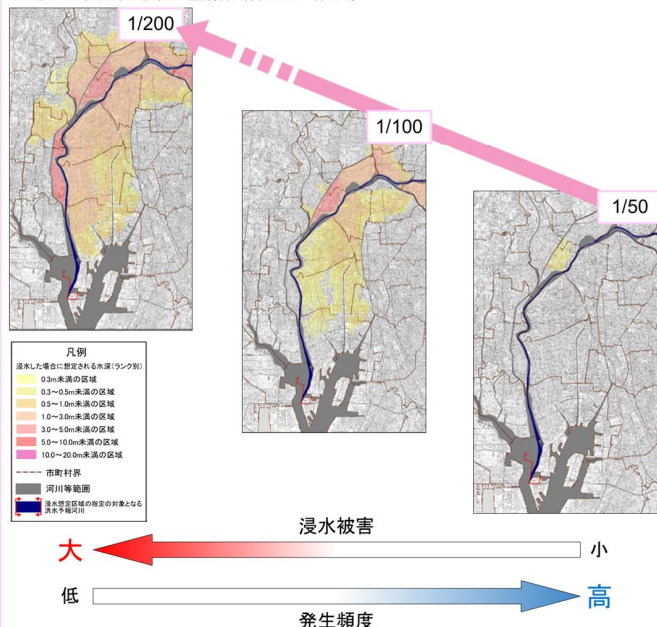


多段階の浸水想定図及び水害リスクマップ

- 土地利用や住まい方の工夫の検討及び水害リスクを踏まえた防災まちづくりの検討など、流域治水の取組を推進することを目的として、発生頻度が高い降雨規模の場合に想定される浸水範囲や浸水深を明らかにするため、「多段階の浸水想定図」及び「水害リスクマップ」を作成・公表しました。
- なお、現在の多段階の浸水想定図及び水害リスクマップは国管理河川の氾濫のみを示しています。

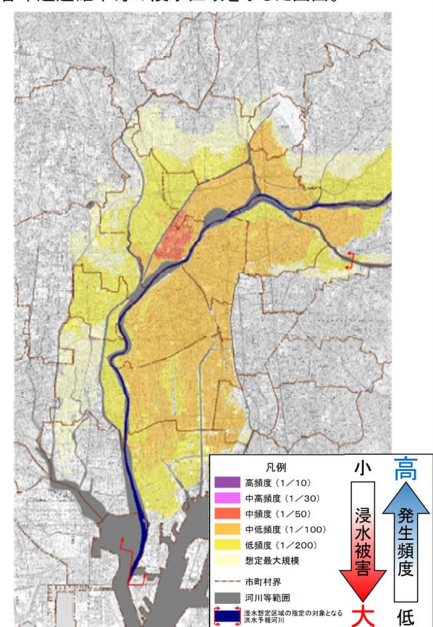
<多段階の浸水想定図>

- ・ 公表済みの想定最大規模に加え、より頻度の高い、複数の年超過確率毎の浸水想定図を作成。
- ・ さらに、治水対策の整備段階ごとに作成。



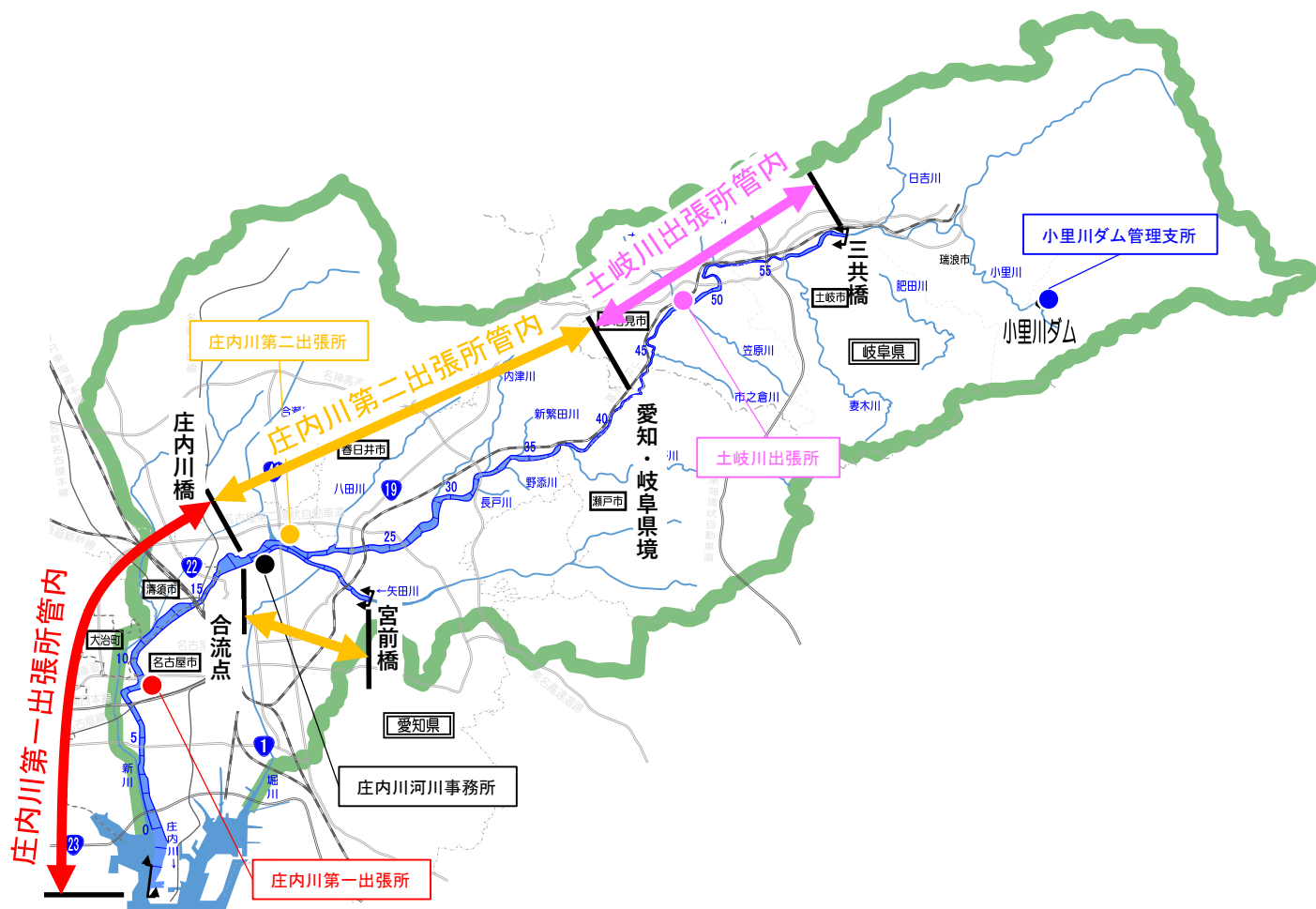
<水害リスクマップ>

- ・ 想定最大規模～頻度の高い複数の年超過確率毎の多段階の浸水想定図を重ね合わせた図面。
- ・ 各年超過確率毎の浸水区域を示した図面。



多段階の浸水想定図及び水害リスクマップのページはこちら▲

[illegible]



◆庄内川河川事務所

〒462-0052 名古屋市北区福德町5-52

TEL : 052-914-6711 (代表)

FAX : 052-915-5093

<https://www.cbr.ml.it.go.jp/shonai/>



みんながまもる土岐川・庄内川

◇庄内川第一出張所 (河口～庄内川橋)

〒453-0862 名古屋市中村区岩塚町西起168

TEL : 052-411-2539

◇土岐川出張所

〒507-0042 岐阜県多治見市前畑町1-39-1

TEL : 0572-23-8505

◇庄内川第二出張所

〒462-0016 名古屋市北区西味鏡2-301

TEL : 052-901-5944

◇小里川ダム管理支所

〒509-7606 岐阜県恵那市山岡町田代1565-21

TEL : 0573-59-0056